

MARINA TABASSUM ARCHITECTS

People

Place

Poiesis

マリーナ・タバサム・アーキテクト展

People Place Poiesis

2025.11.21 | 金 | - 2026.2.15 | 日 | TOTO GALLERY・MA

開催時間: 11:00 - 18:00 休館日: 月曜・祝日・年末年始休館 [2025年12月29日(月) - 2026年1月7日(水)] ただし、2025年11月23日(日・祝)は開館 入場無料

主催: TOTOギャラリー・間 企画: TOTOギャラリー・間運営委員会(特別顧問=安藤忠雄、委員=貝島桃代/平田晃久/セン・クアン/田根 剛)

後援: (一社)東京建築士会 / (一社)東京都建築士事務所協会 / (公社)日本建築家協会関東甲信越支部 / (一社)日本建築学会関東支部 / (公社)日本建築士会連合会

協力: 京都府立大学 森田一弥研究室

Artwork: Anupriya San





クディ・バリ（現地語で「小さな家」の意味）（バングラデシュの各地、2020年〜） © Asif Salman



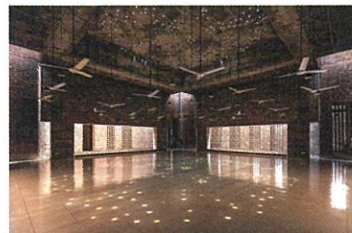
クディ・バリ建設の地域住民参画の様子 © Asif Salman



アルファダンガ・モスク（バングラデシュ ファリドプル、2022年）
© Asif Salman



パニグラム・エコ・リゾート・アンド・スパ（バングラデシュ ジョ
シュール、2018年） © MTA



バイト・ウル・ロフ・モスク（バングラデシュ ダッカ、2012年）
© Asif Salman



独立記念博物館（ミュージアム・オブ・インディペンデンス）
（バングラデシュ ダッカ、2006年） © City Syntax
設計：URBANA（K.チョウドリーとの共同設計）

ピープル

プレイス

ポイエーシス

People Place Poiesis

People | 人々

私たちは人々のために建築をつくる。彼らの願いや夢は、建築の創造的な表現を通して顕在化する。彼らがその空間を自らのものとして活かすことで、空間は生命を宿し、時間とともに成長し、姿を変えていく。空間は人間の行動に影響を与え、その行動を形づくることで、空間を生きる者の集合的な記憶や文化を変容させる。

Place | 場所

場所はコンテキストを生み出す。地理と気候は、文化を通して表現される人々の独自性を特徴づける。場所は多様性をもたらす。建築の言語は、素材の組み合わせ、気候への対応、そして文化的表現によって定義される。

バングラデシュは、ガンジス川のデルタ地帯とヒマラヤ山脈に囲まれた人口1億7000万人の国である。肥沃な沖積土、亜熱帯の気候、豊かな水を湛える平野は、自由を愛するベンガル人の心のよりどころであり、またこの地は文学、音楽、食、テキスタイルなど豊かな文化を育んできた。建築は、土を素材とした質素なものから始まった。土でできた住居は何世代にもわたって受け継がれ、今日に至っている。

Poiesis | ポイエーシス

古代ギリシア哲学に由来する「ポイエーシス」は、芸術的表現、知的な取り組み、あるいは科学的発見を通して、ものを存在せしめる過程と結果の両方を包含している。本質的にポイエーシスとは、新しいアイデアを生み出し、芸術と建築を創造し、有意義な表現を生み出す人間の創造力を体現したものである。

「People Place Poiesis」展は、ベンガル・デルタの独自性に応える建築を探索するマリーナ・タバサム・アーキテクツの取り組みを紹介し、人間の活動、場所、創造的な表現が相互に結びついていることを明らかにする。私たちは、敷地やその周辺の地域社会と密接に連携し、当事者意識を高めるため、多くの場合、設計や建設のプロセスに地域社会の参画を得ている。私たちの建築実践は、地元の材料や建築・工芸に関する知識を活用することに重点を置いており、長いサプライチェーンを減らして地域経済を活性化させるだけでなく、その土地の独自性から生み出される建築言語を尊重している。

私たちはこの展覧会を通して、バングラデシュのさまざまな面を日本の皆様に紹介し、お互いの文化に深い敬意を払いながら、より大きなコミュニティとしてひとつにつながるための共通の基盤を見つけていきたいと願っている。

マリーナ・タバサム

マリーナ・タバサム（建築家）

バングラデシュ出身の建築家・教育者。2005年、ダッカに自身の建築設計事務所「マリーナ・タバサム・アーキテクツ（Marina Tabassum Architects）」を設立。現在オランダ・デルフト工科大学で教授を務めるほか、イエール大学建築学部、ハーバード大学デザイン大学院、ベンガル・インスティテュートなどで教鞭を執る。ドイツ・ミュンヘン工科大学より名誉博士号を授与。アガ・カーン建築賞に加え、ジャミール賞、アメリカ芸術文学アカデミーによるアーノルド・ブルナー記念賞、フランス建築アカデミーの金賞、イギリスのソーネン建築賞など、受賞歴多数。建築と地域の公平性を支援する団体「F.A.C.E（Foundation for Architecture and Community Equity）」およびフェアトレード団体「Prokritee」代表。2017年から2022年まで、アガ・カーン建築賞の運営委員を歴任。英国王立芸術協会（RSA）フェロー。



© Asif Salman

「マリーナ・タバサム講演会

「People Place Poiesis」

日時：2025年11月21日（金）16:00開場、17:00開演、19:00終演（予定）

会場：国立新美術館 講堂（東京都港区六本木7-22-2）

言語：英語（日本語通訳有）

定員：260名 参加方法：参加無料／事前申込制 TOTOギャラリー・間ウェブサイト（<https://jp.toto.com/gallerma>）よりお申し込みください。

申込期間：9月10日（水）～11月9日（日）

応募者多数の場合、抽選の上、11月14日（金）までに結果をご連絡いたします。

注意事項：当講演会では未就学のお子様連れのお申し込みはご遠慮いただいております。

※プログラムは予告なく変更する場合がございます。最新情報はTOTOギャラリー・間ウェブサイトをご確認ください。

「関連書籍

『（仮）マリーナ・タバサム作品集』

著者：マリーナ・タバサム

発行年月：2025年11月（予定）発行：TOTO出版（TOTO株式会社）

お問い合わせ：TEL 03-3497-1010 <https://jp.toto.com/publishing>



TOTO ギャラリー・間

〒107-0062 東京都港区南青山1-24-3 TOTO 乃木坂ビル 3F

TEL. 03-3402-1010（東京メトロ千代田線乃木坂駅3番出口徒歩1分）

<https://jp.toto.com/gallerma>

